

全国学力・学習状況調査【本校の概要】

1. 国語

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

- 「話すこと・聞くこと」については全国平均に比べて上回っています。
- 「書くこと」については全国平均に比べて上回っています。
- 「読むこと」については全国平均とほぼ同程度ですが、やや下回っています。
- 「言語事項」については全国平均に比べて下回っています。

主として「活用」に関する問題 (B)

- 「話すこと・聞くこと」については全国平均とほぼ同程度ですが、やや下回っています。
- 「書くこと」「読むこと」については全国平均に比べて下回っています。

今回の調査における本校の課題

- 相手や場面に応じて適切に敬語を使う
- 登場人物の心情について、情景描写を基に捉える。
- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
- 推薦するためには他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える。
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。

改善の方向

- 目上の人と話したり、手紙を書いたりする経験をさせ、相手と自分との関係を意識しながら敬語を使うことに慣れさせていきます。
- 物語などの文章を読んだときに、心に残った叙述を取り上げ、その叙述を取り上げた理由を考えさせながら、メッセージや題材を強く意識させる表現に着目させていきます。
- 読み手を意識しながら文を書くようにしていきます。そのために、事例を挙げて書いたり、必要な資料を集め、得た情報を関係づけて書いたり、他のものと比較して書いたりできるようにします。
- 何を知りたいのか、どのような情報が必要なのかという目的を明確にし、全体構成を把握しながら読むようにします。

2. 算数

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

- 「数と計算」「図形」「数量関係」については全国平均に比べて上回っています。
- 「量と測定」については、全国平均とほぼ同程度ですが、やや下回っています。

主として「活用」に関する問題 (B)

- 「数と計算」「量と測定」「図形」については、全国平均を下回っています。
- 「数量関係」については、全国平均とほぼ同程度ですが、やや下回っています。

今回の調査における本校の課題

- 1にあたる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる。
- 示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる。
- 折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる。

改善の方向

- 数量の関係を図や数直線などに表す活動を行ったり、数量の関係について論理的に考察したりしながら、計算の意味を考えて立式できるようにしていきます。
- 日常生活の問題の解決のために複数の情報を関連付けて論理的に考察し、自分の考えを分かりやすく説明できるように、日々の授業を行います。

3. 理科

本校の概要

【区分及び領域】

- 「物質」の正答率は、全国平均とほぼ同程度ですが、やや上回っています。
- 「エネルギー」の正答率は、全国平均を上回っています。
- 「生命」と「地球」の2領域の正答率は、全国平均を下回っています。

今回の調査における本校の課題

- より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる。
- 太陽の一日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる。
- ものを水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。

改善の方向

- 観察や実験の結果を基に、「事実」と「解釈」の両方を示しながら説明する活動を増やしていきます。
- 学んだことを基にしながらものづくりをする活動を行っていきます。できたものが目的に合ったものになっているのか振り返ることも大切にします。
- 学んだことを自然の事物・現象に適用できるようにするために今までに習ったことや生活経験と関係付けて話し合う場を設けるようにしていきます。

4. 学習状況

本校の概要

- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「家で学校の授業の予習・復習をしている」子の割合が本年度も高い傾向にあり、家庭での学習に前向きに取り組んでいます。
- ・授業の中で、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組む子の割合が高く、主体的に学ぶ姿があります。
- ・「理科や算数の勉強が好き」「理科や算数の勉強は大切だ」と思っている子の割合が高く、興味や関心をもって学習に臨んでいます。
- ・自然観察や自然の中で遊んだことのある子の割合が全国平均よりやや下回っています。

改善の方向

- ・学習での課題や目標、行事などの活動での目標をしっかりともてるように関わり、今後も子ども自身が意欲をもちながら課題解決学習や活動に向かえるようにします。そのために、子どもたちが活動を振り返る場面を設けたり、教師が子どもたちの取組に対して価値付けたりしながら、個々が自身の取組における成果を自覚できるようにしていきます。
- ・これからも、子どもたちの好奇心や意欲が喚起されるように教材を工夫したり、実際に自然観察などの体験も交えたりしながら、どの教科も進んで学ぶ子どもの育成を目指していきます。